

<p>【技術の名称】 ロータリーダンパー天井制振システム -大林組天井制振構法- (改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-29号 改1 性能証明発効日：2019年10月31日</p> <p>【取得者】 株式会社大林組</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、在来工法で施工される吊り天井と天井埋め込みカセット型室内機（空調機）との間に、それらの相対応答に追従して作用するエネルギー吸収装置（ロータリーダンパー）を組込むことにより、天井および空調機の損傷を防止することを基本とする技術である。本技術は、本技術を適用する天井および空調機に追加される部材、すなわちロータリーダンパー、ロータリーダンパーとその取付金物からなるロータリーダンパーユニット、および空調機の水平耐力・水平剛性の向上に加えてロータリーダンパーの制御力を吊り元へ伝達することを目的とした補強フレーム等から構成されている。

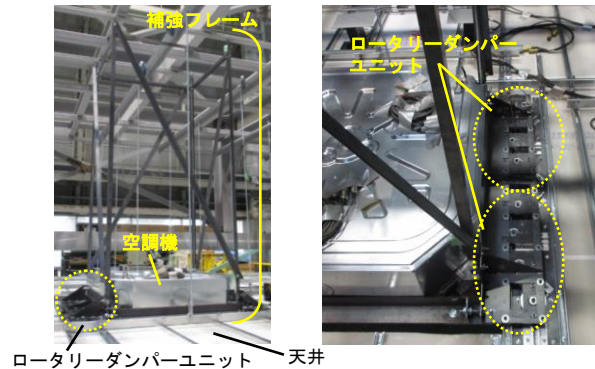


図1 ロータリーダンパー制振天井システムの概要

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第17-29号 (2017年12月7日)
 改定1：GBRC 性能証明 第17-29号 改1 (2019年10月31日)

- ・適用範囲に新設吊り天井と既存吊り天井を追加
- ・天井下地材に JIS 天井下地材 25 形を追加
- ・補強フレームの種類を追加

【技術開発の趣旨】

本技術は、地震時における天井および空調機双方の健全性の確保を目的としており、本技術を用いることによって、当該地震力に対する天井側および空調機側の必要耐力を確保すると共に、天井と空調機との衝突回避、天井と当該天井周辺に設置されている壁等との衝突回避が可能となる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「ロータリーダンパー天井制振システム 設計要領」および「ロータリーダンパー天井制振システム 施工要領」に従って設計・施工されたロータリーダンパー天井制振システムは、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準の解説（平成25年10月版）」の「計算ルート（応答スペクトル法）」で規定されている天井面に作用する地震力に対して、天井面構成部材等、空調機を含めた補強フレームおよびロータリーダンパーユニットの損傷を防止できると共に、天井と空調機との間、および天井と当該天井周辺に設置されている壁等との隙間（クリアランス）を確保できる。

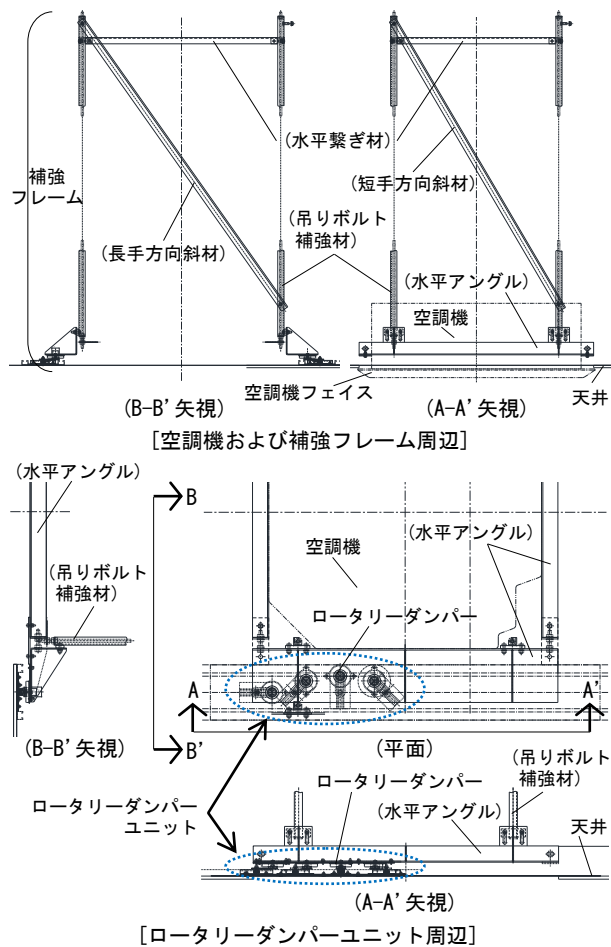


図2 ロータリーダンパー制振天井システムの基本構

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 担当者：奥田 浩文
 〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail：okuda.hirofumi@obayashi.co.jp
 TEL：042-495-1013 FAX：042-495-0904